

恵那

あるこまい

NO. 10

2022年冬号

あるこまい・ぐるーぷ
0573-65-3534

発足30周年を迎える恵那水曜歩こう会の初歩きは、2023年1月11日です。朝9時に恵那文化センターに元気な顔を揃えましょう。

2023年スタートはチャレンジウォークで!!!

健康・仲間・自然を合言葉に
正月・冬を歩きましょう

JR恵那駅10時集合・出発で東・西・南・北を歩きます

- ①元旦：JR恵那駅～市神社～東野～中津川公園～八幡神社～JR中津川駅 15km
- ②2日：JR恵那駅～野井～大名街道～岩村～明知鉄道岩村駅 15km
- ③3日：JR恵那駅～西行塚～下街道～JR釜戸駅 15km
- ④4日：JR恵那駅～中山道～恵那峡・紅岩～新東雲橋～JR恵那駅 15km
- ⑤1月22日(日)：JR中津川駅＝下付知～福岡～苗木城址～JR中津川駅 25km
- ⑥2月19日(日)：JR中津川駅～落合～馬籠～妻籠～三留野～南木曾駅 25km

・ルートは毎年変化しています(当日、天候などの事情により変更することがあります)。

・長距離歩行です(参加者に合わせて4～6時間所要)。

・どなたでも参加できます。

・単日参加もOKです。

・⑤はJR中津川駅8時集合、⑥はJR中津川駅8時30分集合・出発予定です。

☆参加費：各回①②③④は1000円、⑤⑥は500円

運賃・見学科などは要別途です。

☆持ち物など：歩きやすい靴・服装、弁当、水筒、防寒衣(雨具)

主催(問合せ) ユース・レクサークル 赤尾

0573-65-3534

中津川市根の上高原《あかまんまロッジ内》

チャレンジ

阿木川ダムの30度の堤体に挑戦

苦しいけど楽しい!

恵那市役所から岩村駅の13kmをウォーク

11月3日の文化の日に、1989(平成元)年から続く恒例のメモリアルマーチが、青空の下、開催されました。私は、昨年に続いて2回目の参加です。

今年は、参加者の最後尾を歩く係に指名されました。

阿木川ダム入口の道路でトンネルコースを行くと言われたご夫妻と別れ、ダム堤体を登るルートの最後尾で登り、途中から御嶽山・笠置山・恵那市街を一望することが出来ました。

堤体登山終了後に、休憩していた参加者を抜いてしまい、こぶし公園

にて待機して、参加者の確認を済ませ、再び参加者の最後尾を歩き始めました。

見通しの良いルートに来たとき最後尾の親子チームがいなくて気づきました。何処かで抜いてしまったようです。親子チームは、私より少し遅れて岩村駅にゴールされました。

最後尾を歩くのは初めての経験でしたが、楽しく歩くことが出来ました。

参加者・スタッフの皆さんお疲れさまでした。

(西尾 守)

快晴の紅葉特番ウォーク

①中山道鳥居峠越え～奈良井宿散策

10月26日、恒例の「特番ウォーク」で鳥居峠を越えた。

中山道藪原宿から奈良井宿へ。恵那水曜歩こう会を中心37人の参加者だった。

紅葉が始まって、落ち葉の散り敷く石畳の登り坂、御嶽神社と御

嶽山遠望、栃の大樹、楓や落葉松などの森を抜ける道、野菊やヒヨドリジョウゴなど野の花に飾られた石仏たち、それらに迎えられ送られて約6キロ、こんこんと噴き出す宿場の水場に安堵。

(赤尾 袈夫)



藪原と奈良井を結ぶ鳥居峠は旧中山道の難所であった

②林昌寺で 法話と坐禅と食事

恵那水曜歩こう会は11月16日、この秋2回目の「特番ウォーク」を実施した。明知鉄道花白温泉駅から山岡町久保原の林昌寺まで、同寺から山岡駅までの計約6キロを歩いた。参加した総勢35人が秋景の山間でウォーキングを楽しんだ。林昌寺

では本堂で前任職宮地祥敬師による幸せホルモン「オキシトシン生活」の講話があり、その後、短時間ながら坐禅を体験、静寂な空気の中に身心を置くことができた。身体と心の健康に役立つウォーキングは最高だった。

(山本 照夫)



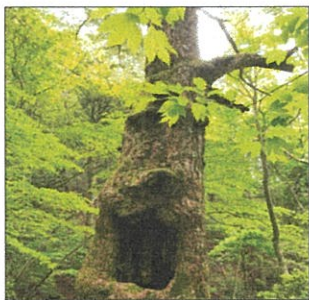
東海マスタース陸上で3種目制覇した85歳の宮地前住職

自然に魅せられて

西尾 栄子

「楽しいですよ！」

のお言葉に誘われて、根の上高原のウォーキングに参加することが何よりの楽しみになっています。はじめて見る可愛い花（シラタマホシクサ）、季節の花、水芭蕉、風に揺れるマツムシ草、展望台からの中津川の街並み、その先に見える御嶽山、中央アルプス、そして名峰恵那山の姿。



樹が笑ってた？ シロヤシオ溪谷

心地良い風を感じて木立の中を落ち葉の音を聴きながら、珍しい植物との出会い。今月はどこを歩くのだろうとワクワクしながらコロナ禍のなか、私の欠かせない行事になっています。

朝寒やよいしよの言葉ついて出る

西本 絃美

10月26日の鳥居峠ウォーキングは好天に恵まれ、峠では御嶽山も拝めました。早速子供たちに“行って来たよ”とメールを。

長男から「靴は買ったの？ 歳をわきまえ、ほどほどにな〜」と返信。先日、散歩用に足に優しい軽い靴をどうかと言われ断ったばかり。私は靴底が厚く、少し重いウォーキングシューズを自分で買うからと。「ありがとう」と貰っておけばいいのに、可愛くないねー、私。

長女からは“よかったね、紅葉は？ 熊いないところ？ また一緒に歩

きたいわ”とメール。春先に帰省中、阿木川湖畔のふれんどリーに私と親子で参加。楽しかったらしい。

次女からは応答なし。3日後、延々と近況報告。3か月前に住み馴れたロサンゼルスからテキサスのダラスへ引っ越したばかり。切れるパスポート申請にヒューストンへは車で4時間かかるとか、仕事のこと、子供の学校のこと。「来年の夏休みは絶対に帰るからねー」と。はい、はい、私の子供たち。ここで一句。

朝寒やよいしよの言葉
ついて出る

お知らせ

毎月第2水曜日のスローウォーキング、
毎月第2木曜日のネノウエイウオーク、
毎月第3月曜日のふれんどリーウオーク、
毎月第4木曜日の明知鉄道沿線ウォーキングは、来年度も1月～3月までは休みにになりますのでご注意ください。4月～12月は予定通り行いますので、みなさん奮ってご参加ください。

ウォーキングの途中で、笠置山の裾に「姫栗」の地が見えます。表題は『恵那市史』からの抜き書きですが、江戸末期の1787年に姫栗村の庄屋樋田幸之助は前年に全焼した長増寺の再建をしようとしたが、

村人たちは大凶作や疫病による生活困窮を理由に大反対であったが、

庄屋は自分の責任で実行することとした。

1811年に本堂が、1822年に全工事が完成した。しかし、寺建立の費用は自分の財政では無理があった。1832年に苗木藩に納めるべき社木金と上納金を流用したことが発覚し、改易追放となった。樋田庄屋は村民のために覚悟をしていた。村を離れる

とき、村人たちからは号泣ながらの見送りがあったとのこと。その後、村人たちは恩に報いるために姫栗村に呼び戻し、長増寺の奥深くでひっそりと暮らしたとの説もある。

後に長増寺は再建され、

現在は長増寺となっ

ている。

なお樋田

家は足利

時代から

の名家で、幸之助は15代となるとのこと。同じころ、岩村藩内の凶作で年貢を減免した代官橋本祐三郎は斬罪になっている。人々のために体を張った人の話を聞くのもウォーキングの楽しみです。

樋田庄屋の子孫は幸之助が晩年ひっそりと過ごした反動で「声が大い」と聞いています。

昔「姫栗」であった話

樋田庄屋の改易

橋本 誠

2日間かけて47kmを歩く

将軍家献上の御鯰街道

小林 潔

江戸時代初期、徳川家康は大坂夏の陣の帰りに岐阜町に立ち寄り、鮎鮠を食すると大層喜び、以後、将軍家への献上を命じた。

長良川で採れた鮎を調理して、岐阜から東海道の熱田・宮宿まで運んだのが御鯰街道である。

街道は長良川畔の川原

ら昼夜兼行で走り、江戸まで5日間で運ばれた。それがちょうど食べごろとなった。将軍家御用達のため関所などはフリーパスの超特急であった。

御鯰街道は「美しい日本の道500選」に選ばれている。私は以前、2日間かけて47kmを歩いたことがある。

町を出発し、加納・笠松・一宮・稲沢・清須を経て名古屋へ入り、熱田神宮前で東海道に合流した。熱田カ



交通の要所だった木曾川の笠松渡船場